



2025年度学校目標：「Be a Pleasing Aroma of Christ：良きキリストの香りとして」

「三育中等教育機関の教科外活動」

秋のPTAが終わると、キャンパスは一気にクリスマスの雰囲気になります。登校前や休み時間、放課後にはクリスマスのメロディーが響き、私の心も温かくなります。生徒たちはこの時期、教会訪問や教育機関、商業施設、音楽ホールなどでの演奏に取り組み、中学校は北部九州へ、高校ハンドベル・クワイアは関西へ、高校聖歌隊は関東へと出向きます。高校聖歌隊の関東訪問は2017年以来となります。毎年、どの会場でも温かく迎えていただき、賛美と演奏を通して豊かな交わりが与えられています。今年も、生徒たちは心を合わせて奉仕させていただきます。

本校が広報・生徒募集で強調している特色の一つは、「運動部に所属しながら文化部の活動（聖歌隊、ハンドベル・クワイア、吹奏楽部、高校人形劇部など）にも参加できる」という点です。特に文化部には“奉仕”と“伝道”の使命が込められており、多くの生徒がいずれかの活動に励んでいます。一昨年にはソーシャル・アントレプレナー活動（ソアン）も加わり、生徒たちの学びはさらに広がっています。

私自身も中高時代にバスケットボール部、聖歌隊、吹奏楽部に所属していました。忙しさもありましたが、仲間と心を合わせて賛美や演奏をする時間は本当に楽しく、特に演奏旅行で教会や会場の方々からいただいた励ましの言葉は、今でも忘れられない大切な思い出です。高1は吹奏楽部で関東へ、高2は聖歌隊で関東へ、高3は聖歌隊で北部九州へ行きました。当時の高校生は体力があったのか、すべてバス移動でした。演奏以外の移動や宿泊の時間も、仲間と過ごしたかけがえのない青春の一部でした。

文部科学省は、教科外活動（部活動・学校行事・体験活動）を教科と並ぶ学校教育の重要な柱として位置付けています。戦後の学習指導要領では、知識だけでなく「自治・協働・社会性」を育てる場として特別活動が制度化され、学校行事や部活動が教育課程に組み込まれました。現在も、主体性・責任感・人間関係力・地域との関わりなど、教科だけでは得にくい力を育む場として重視されています。つまり教科外活動は、生徒が実社会を生きるための非認知能力（人間力）を育てる重要な教育基盤です（参考：今泉朝雄「学習指導要領における教科外活動の位置付けに関する一考察」）。

さらに教科外活動は、総合型選抜（自己推薦型）などの大学入試においても評価される傾向があります。「継続性」「役割」「協働」「主体性」などを示す事例として志望理由書や面接で活かすことができ、大学側に「この学生はキャンパスに貢献できる」と印象付けることができます（参考：推薦ナビ「部活動の経験・実績は総合型選抜で評価される」）。本校の多くの生徒も、教科外活動の経験を強みに大学進学を果たしています。

聖書には次の御言葉があります。

「あなたがたの光を、人々の前に輝かしなさい。人々があなたがたの良い行いを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようになるためである。」マタイ 5章16節

生徒たちの奉仕と賛美の働きが、訪れる方々の心を照らす光となりますよう願っております。皆様のお祈りとご支援を、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

校長 北林 聡

高 高校卒業祈禱週 11/3～8

11月3日（月）から8日（土）まで、卒業祈禱週が持たれました。今年度は、12名の3年生たちが証をしてくださいました。限りある時間の中で、高校時代に経験した神様との生きた証を準備してくださいました。一人ひとりの証を通して、卒業後も神様との関係を大切にしていこうという決意を見ることができたと共に、残される1、2年生にとっても大きな励ましとなりました。この証を聞いたすべての者が神様への思いを新たに、次のステップへの良い準備ができるよう祈ります。

（高校チャプレン 藤田 佳大）



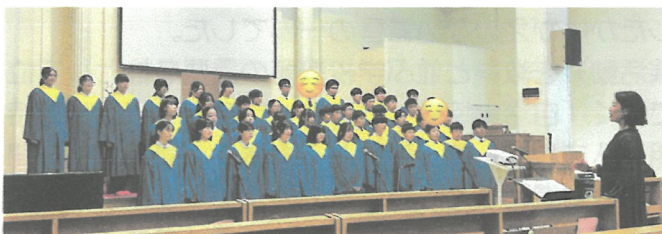
中 中学ソフトボール大会 11/12

先日、寒い中で行われたソフトボール大会が無事に終了しました。生徒たちは寒さを感じさせないほど熱心にプレーし、勝利を目指すのではなく、チームワークを大切にしながら楽しんでいました。各チームが協力し合い、声を掛け合いながら一つの目標に向かって努力する姿が印象的でした。試合を通じて、生徒全員が互いに支え合い、共に成長することができました。競技の枠を超え、絆を深める貴重な経験となり、寒さを感じることなく心温まるひとときを過ごすことができました。（中学校教員 北林 源）



中 中学生広島教会訪問 11/15

11月15日（土）に中学校聖歌隊は、SDA広島教会において音楽礼拝を担当させていただきました。この日は音楽礼拝に加えて、広島三



行事報告

育小学校と幼稚園の園児と児童に向けてのプログラムも用意されていましたが、体調不良の園児と児童が増えているため、これらのプログラムは中止となりました。しかしながら、広島教会の皆様が中学生の讃美を楽しみにして下さっていて、音楽礼拝を行うことができました。当日は、教会員の方に加えて、来訪者の方々も多数ご出席いただき、共に神様に感謝を届ける礼拝プログラムを持つことができました。

（中学校教頭 栗山 裕介）

合 音楽発表会 11/16、25

11月16日、11月25日（パイプオルガンのみ）の2回に分けて今年の音楽発表会が行われました。本校はキリスト教を基盤として建てられた学校ですので、音楽は開校以来とても大事な位置を占めています。その中で礼拝に欠かせない奏楽のオルガン講師には、今年からエリザベト音楽大学オルガン科の元主任教授吉田仁美先生が加わってください、さらに充実したものとなっています。そのオルガン他、ピアノ、声楽、ヴァイオリン、作曲と各分野で生徒たちは一生懸命演奏し、作品を発表しました。今後も神様から与えられた音楽のタラントを各自が更に伸ばし、神様と人のためそして自分のためにも、生涯音楽と関わってほしいと思っています。（音楽部主任 根本 潤）



高 高校ハンドベル今治教会訪問 11/22

高校ハンドベルクワイアは11月22日（安息日）に愛媛県にある今治教会に訪問をしました。安息日学校では教会員の方と小グループに分かれ、一週間の祝福と教課研究の学びにおける分かち合いを行いました。「信仰の巨人」であるヨシュアとカレブのように、神様の約束と物事のプラスの面に心を向けることが、私たちの強さにつながるという学びを心に、礼拝での奉仕と午後の演奏の時間がもたれました。同じ神様を見上げる空間では、数時間という限られた時間であったとしても家族のような温かな交わりができることをそれぞれが経験することが出来ました。（高校ハンドベル顧問 高橋 貴恵）



Schedule for the Activities

中学校

10日（水）	帰省日
10日（水）	聖歌隊・ハンドベルコンサート （東広島芸術文化ホールくらら）
11日（木）～13日（土）	聖歌隊・ハンドベル 北部九州エリア演奏旅行
7日（水）	帰校日
8日（木）	身体計測

12月

10日（水）
10日（水）
11日（木）～14日（日）
11日（木）～14日（日）

2026年

1月

高等学校

10日（水）	終業式、帰省日
10日（水）	聖歌隊・ハンドベルコンサート （東広島芸術文化ホールくらら）
11日（木）～14日（日）	聖歌隊 関東エリア演奏旅行
11日（木）～14日（日）	ハンドベル 関西エリア演奏旅行
7日（水）	帰校日
8日（木）	始業式